

市内美化活動の紹介！



いつも
ありがとうございます

市内の美化活動や、環境美化等に取り組むみなさんを紹介します。



多久市そうじの会
代表 山崎 昌治

毎月第3日曜日市内の各道路のゴミ拾い、年2回多久インター入口周辺の植樹帯への花の植栽を行っています。釈菜の前の聖廟の美化や、防犯パトロールも第4金曜日にしています。



中多久ボランティア連絡協議会
代表 松永 正義

毎週日曜日、市内北部公園や中多久記念碑、子供遊園地、中多久駅花壇の植替え、周辺の清掃をしています。巡回路上のゴミ拾いを兼ねて、防犯パトロールも行っています。



多久美化クラブ
代表 北川 榮

多久聖廟周辺の清掃や美化活動に取り組んでいます。冬のイルミネーションや竹燈籠のイベント、花壇の整備をして聖廟を訪れる人の心を癒す観光地づくりをしています。



佐賀たばこ販売協同組合

小城多久支部(大坪幸佑支部長)は、「地域社会に貢献を」と、10月31日に市役所から筋原の北多久郵便局跡までの国道と県道沿いの環境美化活動を行いました。また施設訪問や交通キャンペーンにも取り組んでいます。



シルバー人材センター

毎年10月の「シルバーの日」に合わせて、清掃ボランティアに取り組んでいます。今年は、会員約40人で、筋原公民館裏の剪定作業や天山斎場への道路の草刈、多久聖廟周辺のゴミ拾いを行いました。



西部建設(株)佐賀支店

社員の有志で、毎週金曜日始業前の15分間、会社前の市道中山バイパスの約500mでゴミ拾いや草取りを行っています。空缶、たばこの吸殻などが捨ててあり、毎回「マナーの向上」を願いながら活動しています。

市長コラム

温|故|創|新|

Message for citizen

財源不足? いいえ大丈夫です

市長 横尾俊彦

ねじれ国会終盤、党首討論での野田総理発言を発端に、11月16日に衆議院は解散となった。付帯条件は政治改革。定数は正と一票格差は正を次期国会で行うとの約束を主要政党が確約した。

そこに至る間に課題もあった。ひとつが特例公債法案の問題だった。一時的に交付税が交付されない状況になった。市民の方からも「財政は大丈夫?」と尋ねられた。借入する自治体もあるが多久市は大丈夫。不足予想約7億円に対し、多久市は財政調整基金と減債基金の約22億円(基金総額は約70億円超)で対応とし、即日決裁した。

重要法案としてマイナンバー法案もあった。行政サービスを格段に改善するもので、行政からのサービスを必要とする市民に、迅速・的確・公平な提供も可能にする。政府はまずは社会保障の一部と税に使う予定と聞くが、広い活用が肝心だ。

海外では画期的に活用されている。韓国では確定申告はPCや携帯端末に届く申告情報を確認してクリックすればそれで完了。これもほんの一例という。エストニアは世界最先端を走ると聞く。

まさに新たな行政インフラで改革を推進している。増税の前にやることにこの制度を加え、強力に実行すべきと思う。まさに日本が変わる。

内外に課題山積の様相の日本の政治。その針路を問う選挙は16日だ。新たな政治行政の創造も含む本格論戦、ビジョン合戦が期待される。

ともに未来を明るくしていきたいと願う。そのためにも投票し、参政権を行使して下さい。